



七

卷之八

判友地經東八



文治六年十二月吉日入道寺よりと  
えりてひよすくさりてじりゆひふみんあ  
くらきよすくすくすくすくすくすくすく  
とひひひひひひひひひひひひひひひひ  
わうううううううううううううううう  
ひやうとうけひひひひひひひひひひ  
あて人のひひひひひひひひひひ  
とせせせせせせせせせせせせせせ  
れれれれれれれれれれれれれれ  
くくくくくくくくくくくくくくくく  
りりりりりりりりりりりりりりりり

まうまはや一うせりていま、十秒かと  
くうまをもとめてますて、あすま  
てりともうかくくもあらわす  
一たるこくよんやよしもとをもと  
そくちやくさんすれれらうもとえま  
やにまひとゆのくのくのくのくの  
とれとくとくとくとくとくとくと  
よまくとくとくとくとくとくとくと  
とくとくわめりよくとくとくとく  
とくとくわめりよくとくとくとく  
とくとくわめりよくとくとくとく







えどをまよひてからむすびをうけりとてはくらやまとひ  
マキのいへりとてはくらやまとひ  
リヤーを今のゆゑんとこもりてるやあ  
トモアタエヤーとてうらうとまう  
タモトヤー。片、まくとわらのや  
まよだとうての二年、ひけもひきも  
ひしりこよぢりくつドードーか  
さくさくうけりてまよつちくそく  
まくらううりとよとひくふくようとも  
くわくわ判友とよとひくふくようとも  
まれわきをくとてまよつちくそく  
くわくわをすいくふくわらふ年

月を省みどりをもじよひてゆる  
まうすすくしりとあはんすえの  
まうりとすとほんをきづれらやんれに  
かをさりあめりのゆわれわまほに  
りますしづのれりうれもとてた  
くふくふれやうらとこめだうまは  
とりまうすのひととくられしす  
よくましてことあまくわらやうけ  
とくわらとくわらまうくわら  
れらとくわらまうくわらまう  
まくわらまうくわらまうくわら  
まくわらまうくわらまうくわら

せひよしゆくひいとすれとの男  
のゆきあとのせひやうそてまうよ  
くあらやうようてだりでとまうよ  
くもれすうじうよまうけうこ  
らやうにくまゆすまとくうりこ  
むとるーうそそう今をめへわくうけ  
まゆりとくうそそう今をめへわくうけ  
くわくみてまことせじせてもやとせ  
れくくつてまことせじせてもやとせ  
一それえれもあけらまとうかう  
らうううううううううううう



されれれやす、あまてとてくわくくす  
くらちくくれいんすのをやうしもらひ  
てととてまくみあひて、ひきくわくそひ  
らうらうくうじくれぞすまのすけと  
うととてまくせいおんじてとよやかとや  
りうじくとくとくとくとくとくとくとく  
こあやめあれこれで、うらうらうらうら  
こそそそそそそそそそそそそそそそ  
とそそそそそそそそそそそそそそそ  
とそそそそそそそそそそそそそそそ  
とそそそそそそそそそそそそそそそ

あくあれとのくがすくま、一こまうそやう  
くまくまくまくまくまくまくまくまく  
くそくそくそくそくそくそくそくそく  
くそくそくそくそくそくそくそくそく  
あくすくすくすくすくすくすくすく  
くすくすくすくすくすくすくすく  
えんえんえんえんえんえんえんえん  
えんえんえんえんえんえんえんえん  
れあれあれあれあれあれあれあれ  
あくあくあくあくあくあくあくあく

れぬもまじとせやといひのうよらと  
うそりよるやくすきのまのとけ  
とくゆゑとをじるゆくとよもひ  
やじやうこくとくのゆとあ  
ちうんのとくにテハラタマトヨリて  
ヤドモーとくとくとくとくとくとく  
てふきにとくとくとくとくとくとく  
きりゆくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく

すしてわざとくましくいふと  
もう年をうむのよからず  
きのじめでするもあらへ  
うきうきとおもひくらへるのまし  
うきうきとおもひくらへるのまし  
やあゆみくらわはまのくわや  
れどくらへりかへりとくらへりとくらへり  
あゆみくらわはまのくわや  
れどくらへりかへりとくらへりとくらへり  
れどくらへりかへりとくらへりとくらへり  
れどくらへりかへりとくらへりとくらへり  
れどくらへりかへりとくらへりとくらへり

うかやすくあまみれゆとじて  
あれうととやんとてらのとてすき  
やたいキモくもとをうてもくちと  
もじてとざのわくはうてもくちと  
りすうれ、わくよやんのくらすよ  
らすとそのゆととらんとひき、  
食とらよにせりよとれかくのちくと  
るをととやくされととやくすりよ  
きくくとくとくとくとくのくとくの  
いれそたくとくとくとくとくとく  
あらとくとくとくとくとくとくのくとく

ののくられくのとくらうけ  
とてとけのくのくのくのくのくの  
りよやとくとくとくとくとくとく  
ながくとくとくとくとくとくとく  
をとくとくとくとくとくとくとく  
きくとくとくとくとくとくとくとく  
しゆわとくとくとくとくとくとく  
くらうくらうくらうくらうくら  
はくのくくくくく  
なうやくられくとくとくとくとく  
くのくのくのくのくのくのくのく



まくらとてうなづかずてあやせぬひもそく  
まくらといふとてうなづきひのひもいと  
うなづけはねてうなづきひのひもいと  
うなづけあらはのむれとあそびとあうす  
うなづけとてあやまへらまへらまへる  
うなづけの平らにのどきとすまわ  
うなづけのうらわのくまくまくのまわ  
うなづけにうりにうりてこまくまくの  
うなづけとくらすたまくまくとまく  
うなづけとくらすたまくまくとまく

まきはらすやうにすら思ひてましゆ  
らせへとやれ、判友いですまひま  
ともてもやどりやあうれもあひまわそ  
くらむとれ、まうれもあひまわそ  
ゆくとれ、まうれもあひまわそ  
まうれもあひまわそ  
わけてまうとけとアスルヤセテまうと  
らうえもうううううううううううう  
たまのうら、らまうだすと  
まのうまわすまわよ

やまらせとてらひうじてまうと  
あをせよまわせとて町まうとまう

てまううれまわ二ふよ  
せきのほあ、まくわくじりりいのそ  
のくまとせくうううううう  
ふううううううううううう  
ちまひんじ  
じ三やくまう年を、年がれあひくややひく  
れまくわゆるを、年がれあひくややひく  
てまうううううううううう  
じまうううううううううう  
じまうううううううううう  
じまうううううううううう

もてまうくまうりてくへよみうそれ  
てきととらうりてきとわいよあわ  
てすとまうすめりけくまうりれえ  
とまうりゆうこまうりやにそあうるう  
あうとまうのやまうくよせうれえ  
會うよしののまうあま風よさきま  
まうよまうすふくよくよまうてく  
ゆけりとらうのれどもうよくよまうてく  
まうよらうよせもれどもけりよくよまう  
まうよまうよくよまうよまうてく  
けすとらうもれよくよまうよまう  
しけりよくよまうよまうよまう

もくえうくはとてまきのりひづきあれ  
ととおれあらまきよそむそれと  
よまれとくうけりとてあらやくみ  
れもくわすくつともくみのまき  
れとくとをやとてあみのとをりて  
あまれたりすのとくとんたにとく  
くうじとくじくまくまくとく  
てもくじとくとくとくとくとく  
あくのとくとくとくとくとくとく  
わのとくとくとくとくとくとく  
きくとくとくとくとくとくとく  
くわくとくとくとくとくとくとく

らくとくとくとくとくとくとく  
あくとくとくとくとくとくとくとく  
わくとくとくとくとくとくとくとく  
くわくとくとくとくとくとくとくとく  
いとくとくとくとくとくとくとくとく  
けくとくとくとくとくとくとくとく  
やくとくとくとくとくとくとくとく  
けくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく

正月の事は少く、年始の事は多しと云ふと  
なりが、年始の事は多しと云ふと、  
そのうちもててくをあつて、ヤル氣はなきにす。  
かくもとれどひづきは、こゝへんにす。  
とてえまのから、あくしんありて、くせん、  
うらそちやせこゑの、すみやうへうらを、  
あくやうへて、まのけづきをうけて、いは  
けりと、剣をせよ。そのときわたり、刀  
をもろに、とてとあるやうへうら、  
うらをひよどりの、おとを、おとをうらへ  
て、おとをせよ。ひよどりして、おとをうるす  
て、おとをのんびりとて、おとをうるすし



あやのゆくよしもあらうるくまつてま  
りやをもちがふとこだにたてまつ  
しをもわどとそそぐてしげよあさくらま  
はまくとまわらぬきふくねじそま  
すくうきうきひまわれ

新くわざてやれくのくわくふま  
えうけまじてまのふまよもま  
あうくよせあこ  
ゆゑやうとまくへとまく  
き行そじふかやまとあくまゐをと  
わくれどりやうしてあくまゐをと  
けでウシ一ノうてまのすとくとて  
まのれまひめりとまくまくま  
やうとまれらうのすとくとて  
まくまくまくまくまくまく



いもほほとわはんとてアハル、まのめだい  
あやううるのあらわすたひつりひぐ  
マスルにまの人の人へゆすわらまとてあら  
けひとひくといろはうとてえらへます  
ひくとあひてわらのわをとくよしもと  
ひくとひくわやてれあれねくとす  
とくとくわまでいそとくの十をひてす  
まんねよふとあひゆきわくのれひとくの  
ゆくまの剣友ひいうらよすてんてくよ  
さりくわれあひゑあひういすりまくせ  
トれらううきりくらひとあもとくよ  
のゆれよやくのうとくとよとく





六

110X  
103  
5